

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月10日				
事業所名		公表日 2025年3月10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・広いとは言えませんが、工夫をしながら活動しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・教室内に段差はないが、日頃から動線には気を付け、物を置く位置などには配慮している。 ・毎回使った机やイスは片付けて、教室に障害物が内容に環境設定をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・管理者、役職者だけでなく、若手の職員、非常勤職員にも、検討会に参加するように、zoomなども使い開催している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・今のところ、第三者評価は取り入れていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・定期的に研修をするとともに、問題があったときは検討会を開き、検証、意見交換をしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・その日利用する、児童のメンバーに応じて、プログラム内容は、チームで検討し、立案している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・療育理論のベースはコロメソッドで行っているため、スタッフの意識統一、技術の均一化は概ね図れている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・保護者からのニーズはもちろん、いま必要な力を引き出し育てるプログラムを具体的に立て、こちらから保護者に提案、アドバイスをしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・自閉症特有のこだわり行動を崩し、適応行動が取れるようにプログラムし、活動しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・その日のリーダーとなるスタッフの号令で打合せをしている。その中で、製作リーダーやリズムリーダーなどの役割を事前に決めて活動をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・先に退出するスタッフには、グループLINEを使い、細かいところまで共有しあっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	2	・自立・日常生活動作獲得への支援、創作活動、余暇、学習は、実施できているが、地域交流の機会がないのが現状。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・機会は少ないですが、お子さんの状況や課題を良く把握する者が出席をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・特別な医療的ケアが必要な児童はいないが、てんかん発作のある児童の場合、発作時は、保護者に連絡し、指示を仰ぐ手はずになっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・これまで園や事業所さんから連絡を頂いたことはなく、お子さんの情報は面接時に保護者から直接うかがっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・問い合わせや相談がある場合は、情報提供をしますが、これまで連絡を頂いたことはありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・本部主催のダイナミックリズムがあり、コロロの幼稚園生や参加者のご兄弟など、障害があるなしにかかわらず、一つの行事にみんなで参加する機会が年間に4回ほどあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・協議会に加入し、出来るだけ参加するようにしている。地域の情報が分かり、勉強になっています。	今年度は日程が合わず、参加頻度が少なくなりました。現児発管だけでなく、他の職員にも参加をしてもらえるよう機会を作っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・あえて送迎サービスは行わず、行拂りに親御さんとやり取りを大切にしています。近況や現在の問題行動や困りごとが保護者から直接伺えます。それを基に、その日のプログラムを変更して対応することもあり、問題意識は共通していると感じています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・歩行のさせ方、対応のコツなどは言葉の説明するだけでなく、実際に一緒に練習をするなどしてお伝えすることで、お母さんとできる、家庭でできることを目指しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・お母さんからの質問や相談は、連絡帳や送迎時の立ち話、またメールや電話でお話しするなど、出来るだけ早く対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	・お話が合いそうな保護者同士をつなげることはありますが、放課後等デイサービスに父母の会の活動を支援することはありません。わたくしたちが求められているとも思えません。	今後も保護者勉強会は積極的に開催をし、保護者同士のつながりの場を設けていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・苦情等があった場合は、すぐに役職者に報告し、早期に対処するよう努めている。日誌に記入するとともに、報告書を作成し、スタッフ全員で内容を共有するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月おたよりを発行し、活動内容をお知らせしています。 ・子どもたちの製作物を教室に貼り出すなど活動内容を見ていただけるようにしています。	長期休みがある月のスケジュールを早めに公表して、ご家庭での計画が立てやすいように配慮します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・年賀状の張り出しには住所を伏せるなど、掲示物にも配慮をしている。 ・資源ゴミに出す紙には、名前や個人と特定できるものはないかチェックをして出しており、それ以外はシュレッダーにかけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・自分から適切に発信ができないお子さんも多いことから、表情、仕草などの観察は怠らないようにしています。 ・保護者とは、連絡帳と送迎時の立ち話、メールなどを使い、いつでも連絡を取り合う体制を設けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・デイの活動では、地域の方を招くような行事を開催したことがないですが、子どもたちみんなであいさつをすることで、マンションの皆様とはあいさつの交流は強くなったと思います。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		個別面接時だけでなく、運営規程や各種マニュアルが設置してある棚を周知して、随時見ていただけるようにしますが、周知が甘いので、積極的にお知らせをしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・半年に一度避難訓練を開催するだけでなく、この場所がハザードマップ上にあることも周知したり、大雨、暴風域時の開催基準なども明確にして、お知らせするようにした。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギーのある児童については保護者からの指示により対応している。昼食はすべて家庭で用意していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・全員で回覧し、情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・人権研修会に参加をすることで、お子さんとご家族のご苦労を知り、精神性から虐待の虚しさを知ることができた研修でした。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・日頃から身体拘束をすることなく、活動ができるように、療育技術を高める努力をしている。 ・身体拘束が必要なお子さんがいません。		